

手順①

- ・申請書を記入した日を記入してください。
- ・申請・請求者欄は世帯主の氏名、生年月日、住所、日中連絡可能な電話番号（携帯可）を記入してください。
- ※代理人が代わりに記入する場合は、別紙の「委任状」を記入し、本申請書と併せて提出してください。
- ※現住所が令和6年12月13日時点の住所と異なる方は※欄を記入してください。

手順②

- ・令和6年12月13日時点の全ての世帯員の状況を記入してください。

手順③

- ・該当するいずれかの欄(口)にチェック✓を記入してください。
- ※「基準日（令和6年12月13日）と令和6年1月1日時点の住所が異なる」欄にチェック✓を記入した方は、令和6年1月1日時点に住んでいた市区町村が発行する該当者全員分の課税状況を証明する書類を必ず提出してください。（証明書については令和6年1月1日時点に住んでいた市町村に郵便請求ができます。）

記入例

住民税非課税世帯(3万円)

令和6年度 住民税非課税世帯等給付金申請書(請求書) (住民税非課税世帯で申請を必要とする世帯の場合)

給付市区町村【基準日(令和6年12月13日)時点で住民登録がある市区町村】

丹波市長 宛

丹波市
受付印

裏面の【誓約・同意事項】の全ての内容に誓約・同意しますので申請します。

1. 申請・請求者(世帯主)

申請日 令和7年 ○月 ○日

(フリガナ)	生年月日	令和6年12月13日時点の住所
氏名 タンバ タロウ	大正 昭和 平成 令和 ○年 ○月 ○日	〒○○○-○○○○ 丹波市○○町○○ ○○-○ 電話 ○○○○(○○)○○○○
丹波 太郎		現住所(令和6年12月13日時点の住所と異なる場合はご記入ください) 〒 ※

2. 世帯の状況(令和6年12月13日時点の世帯の全ての構成員について記入してください。)

○下表の「基準日(令和6年12月13日)と令和6年1月1日時点の住所と異なる」欄に「異なる」にチェック✓が入る方は、令和6年1月1日時点でお住まいの市区町村が発行する「令和6年度の住民税非課税証明書(コピー)」を添付してください。
(該当する方が複数おられる場合は、該当する方全員の分)
※「住民税非課税証明書(コピー)」の添付がない場合は、この給付金の給付を受けることができません。

	(フリガナ)	申請者との続柄	個人番号(マイナンバー)	基準日(令和6年12月13日)と令和6年1月1日時点の住所が異なる	異なる場合には令和6年1月1日時点の住所を記載	令和6年度住民税課税状況
	氏名		生年月日			
1	申請・請求者(世帯主)	本人		☒ 同一 ☐ 異なる		☐ 課税 ☒ 非課税 ☐ 未申告
2	タンバ ハナコ	妻	大昭和 平 令 ○年 ○月 ○日	☐ 同一 ☒ 異なる	○○県○○市○○町○○	☐ 課税 ☒ 非課税 ☐ 未申告
3			大昭和 平 令 年 月 日	☐ 同一 ☐ 異なる		☐ 課税 ☐ 非課税 ☐ 未申告
4			大昭和 平 令 年 月 日	☐ 同一 ☐ 異なる		☐ 課税 ☐ 非課税 ☐ 未申告
5			大昭和 平 令 年 月 日	☐ 同一 ☐ 異なる		☐ 課税 ☐ 非課税 ☐ 未申告

3. 受取口座(原則、申請・請求者(世帯主)の口座とします。)

長期間入金のない口座を記入しないでください。

下欄に記載の上、受取金融機関口座確認書類のコピーを添付してください。

金融機関名	店名	分類	口座番号	口座名義(カタカナ)
☒ 銀行 ☐ 信用金庫 ☐ 農協 ☐ その他	☒ 本店 ☐ 支店 ☐ 出張所	☒ 普通 ☐ 当座	※右詰めでご記入ください ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	※通帳の表記に合わせてください カタカナ タンバ タロウ
金融機関番号	店番号			
ゆうちょ銀行	通帳記号	通帳番号	口座名義(カタカナ)	
ゆうちょ銀行を選択された場合は、貯金通帳の見開き左上またはキャッシュカードに記載された記号・番号をご記入ください。	※右詰めでご記入ください 6桁目がある場合は※欄にご記入ください	※右詰めでご記入ください	※通帳の表記に合わせてください カタカナ	
1	0			

(注)「金融機関で口座が作れない等、どの口座にも受け取りができない方は、丹波市「社会福祉課」住民税非課税世帯等給付金(こども加算)担当(TEL0795-○○○○)までお問い合わせください。

※裏面も必ずご確認ください

手順④

- 受け取りを希望する口座を記入してください。
- ※原則として、申請・請求者(世帯主)の口座を記入してください。
- ※受取口座を確認できる書類(通帳やキャッシュカードのコピーなど受取口座の金融機関名・口座番号・口座名義人を確認できるもの)を添付してください。

裏面も必ず記入してください。

・全ての項目を確認してください。

※扶養の有無を確認してください。

「扶養」とは

税法上の配偶者控除、配偶者特別控除、扶養控除、年少扶養、青色事業専従及び事業専従の対象となっている方

※別世帯でも扶養を受けていることがありますので、必ずご家族に確認してください。

【誓約・同意事項】

- ① 住民税非課税世帯等給付金の給付要件(※)に該当します。
※住民税非課税世帯等給付金の給付対象となるためには、以下の要件を全て満たす必要があります。
ア 世帯の全員が、令和6年度の住民税非課税者である。
イ 世帯の全員が、別世帯の令和6年度の住民税課税者に扶養されていない世帯か、一部の世帯員のみが扶養されている世帯である。
ウ 世帯の中に、租税条約による免除の適用を届け出ている者がいない世帯である。
- ② 世帯の中に、所得があるのに未申告である者はいません。
- ③ 既に令和6年度住民税非課税世帯等給付金の給付を受けた世帯ではありません。
- ④ 住民税非課税世帯等給付金の給付要件の該当性等を審査等するため、丹波市が世帯員全員の必要な住民基本台帳情報、税情報等の公簿の確認を行うことや必要な資料を他の行政機関等に求める(提供する)ことに同意します。
- ⑤ 公簿等で確認できない場合は、関係書類を提出します。
- ⑥ この申請書は、丹波市において給付決定をした後は、住民税非課税世帯等給付金の請求書として取り扱うことに同意します。
- ⑦ 丹波市が給付決定をした後、申請書(請求書)の不備による振込不能等の事由により支払が完了せず、かつ、令和7年7月31日までに、丹波市が申請・請求者に連絡又は確認できない場合に、住民税非課税世帯等給付金が給付されないことに同意します。
- ⑧ 住民税非課税世帯等給付金の給付後、本申請書の記載事項について虚偽であることが判明した場合や、住民税非課税世帯等給付金の給付要件に該当しないことが判明した場合には、住民税非課税世帯等給付金の全額を返還します。

提出書類

※提出する書類について、チェック欄(□)にチェック✓を入れてください。(①～④は必ず提出)

- ☒ ① 『令和6年度住民税非課税世帯等給付金申請書(請求書)』(本書)
 - ☒ ② 『申請・請求者本人確認書類のコピー』
※申請・請求者の運転免許証、健康保険証、マイナンバーカード(表面)、年金手帳、介護保険証、パスポート等のコピーいずれか1点を添付してください。
 - ☒ ③ 『受取口座を確認できる書類のコピー』
※通帳やキャッシュカードのコピーなど、受取口座の金融機関名・口座番号・口座名義人を確認できる部分のコピーを添付してください。
 - ☒ ④ 『令和6年度の住民税非課税証明書(コピー)』
※令和6年1月1日時点でお住まいの市区町村が発行する「令和6年度の住民税非課税証明書のコピー」を添付してください。(表面「2. 世帯の状況」の「令和6年1月1日時点の住所」欄が「異なる」に該当する方全員分)
- ◎世帯主に代わって代理人が申請(受給)を行う場合のみ必要なもの
- ☐ ⑤ 『委任状』と『代理人確認書類のコピー』
※市が指定する委任状を提出してください。
 - 委任状には、代理人の本人確認書類(運転免許証、健康保険証、マイナンバーカード(表面)、年金手帳、パスポート等)のコピーいずれか1点を添付してください。
 - 代理人の口座に振込する場合は、受取口座の「金融機関名」「口座番号」「口座名義人」が確認できる書類(通帳やキャッシュカード等)のコピーを添付してください。
 - 法定代理人の方が申請する場合は、世帯主との関係性がわかる書類のコピーを添付してください。

手順⑤

①～④は必ず提出が必要な書類です。全ての書類が添付されているかを確認の上、チェック欄(□)にチェック✓してください。

⑤については、代理人が申請書を記入する場合や、代理人の口座を受取口座に指定する場合に添付してください。